

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	小笠原諸島の調査に要する経費	事業開始年度	昭和55年度	作成責任者														
担当部局庁	都市・地域整備局	担当課室	特別地域振興官	特別地域振興官 安栖 宏隆														
会計区分	一般会計	上位政策	離島等の振興を図る															
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	小笠原諸島振興開発基本方針 小笠原諸島振興開発計画															
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に、3行程度 以内)	東京都又は小笠原村が、観光・産業振興のための施策を自らの創意工夫により立案するに当たり、その実現性・実効性を含め他地域の地域振興の成果と課題をより専門の見地から収集、分析を行い、東京都・小笠原村がより効率的・効果的に具体的な施策を立案できるよう、間接的な支援を行う。																	
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	小笠原諸島振興開発の基本となる方向性を検討するための調査を国が実施。 (H21年度) ①世界自然遺産にふさわしい環境・景観づくりのための社会実験等調査 ②小笠原のフィールドを活かした創作拠点形成のための社会実験等調査 ③小笠原の世界自然遺産の管理の担い手等のあり方に関する調査																	
実施状況	<p>○ 調査数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				平成19年度	平成20年度	平成21年度	4	3	3								
平成19年度	平成20年度	平成21年度																
4	3	3																
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求												
予算額(補正後)		37	37	35	29	28												
執行額		37	30	33														
執行率		99.4%	81.3%	94.1%														
総事業費(執行ベース)		-	-	-														
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本経費は、国において調査検討するにあたって必要となる経費である。 ・発注先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、企画競争の手続きを経た上で、発注先を特定し、請負契約を締結。 ・業務の実施にあたっては、仕様書に「緊密な連携をとって進めるものとする」と記載あるとおり、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策とりまとめに向け調査内容に過不足はないかなどを確認している。 ・調査終了後、完了検査を通じて、発注先より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認を行っている。 																
	見直しの 余地	<p>東京都が平成21年に作成した小笠原諸島振興開発計画では、農業産出額などの「施策や事業の目標」が設定されており、計画期間中にも中間的に評価を行い施策や事業施行に反映していく、としている。その評価や国が作成した小笠原諸島振興開発基本方針を踏まえ、最も振興開発に資するものと考えられるテーマを設定していく。また、調査検討段階から内容に関係の深い地元関係者と連携しながら、調査完了後の地元での円滑な取組みにつなげていく。</p> <p>(20年以上経過した事務事業の廃止を前提とする検証) 本事業は、小笠原諸島の地理的・自然条件や歴史的経緯など、小笠原諸島の特殊事情に鑑み、小笠原諸島振興開発特別措置法の規定に基づき実施する事業であることから、引き続き事業としては実施する必要があるが、上記の観点から見直しを行う。</p>																
予算 監 視 の 効 率 化	<p>【抜本的改善】 小笠原諸島の特殊性を踏まえた地元関係者による主体的・自立的発展に向けた取組を促す政策目的が効果的に実現されるように、国が調査を実施する必要性を厳格に精査した上で、官民連携の推進など新たな担い手による自発的、戦略的な取組を促すなど、小笠原諸島固有の地域ポテンシャルを引き出す効果の高い調査に重点化を図る。また、発注先の選定については、現行の企画競争方式よりも競争性・透明性の高い方式の導入を図る。毎年同様の調査を実施していると思われる、調査から実行段階へとステップアップするべき。調査実施に当たっては、実行までを視野にいれた調査とすべき。(179も同様)</p>																	
補 記	<p>【予算科目】</p> <table border="0"> <tr> <td>・356 離島振興費</td> <td>(21年度予算額)</td> <td>(21年度決算見込額)</td> </tr> <tr> <td>・95 小笠原諸島の振興開発に必要な経費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・95016-2122-08-2010 職員旅費</td> <td>1百万円</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td>・95016-2123-09-2442 離島振興調査費</td> <td>34百万円</td> <td>32百万円</td> </tr> </table>						・356 離島振興費	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)	・95 小笠原諸島の振興開発に必要な経費			・95016-2122-08-2010 職員旅費	1百万円	1百万円	・95016-2123-09-2442 離島振興調査費	34百万円	32百万円
・356 離島振興費	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)																
・95 小笠原諸島の振興開発に必要な経費																		
・95016-2122-08-2010 職員旅費	1百万円	1百万円																
・95016-2123-09-2442 離島振興調査費	34百万円	32百万円																

国土交通省
33 百万円

A. 都市・地域整備局
33 百万円

業務の実施にあたり、各支出先の指示・監督

【企画競争】
B. 公益法人 (2団体)
17 百万円

アートを活かした観光に関する社会実験等調査(資料収集、新たな観光体験メニューの実施運営等)の実施等

【企画競争】
C. (株)パンフィックコンサルタンツ
15 百万円

世界遺産にふさわしい環境づくりのための社会実験等調査(資料収集、電気自動車等の島民試乗体験実施等)の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A. 都市・地域整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	アートを活かした観光に関する社会実験等調査(資料収集、新たな観光体験メニューの実施運営等)の実施等	32			
その他	職員旅費	1			
計		33	計		0
B. 公益法人((財)日本交通公社)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	アートを活かした観光に関する社会実験等調査(資料収集、新たな観光体験メニューの実施運営等)の実施	10			
計		10	計		0
C. (株)パシフィックコンサルタンツ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	世界遺産にふさわしい環境づくりのための社会実験等調査(資料収集、電気自動車等の島民試乗体験実施等)の実施	15			
計		15	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※百万円未満は四捨五入して表記している。

【別紙】

B.公益法人(2団体) 17百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(財)日本交通公社	10
2	(財)日本システム開発研究所	7
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		